



里山レンジャー 「クリスマスリースを作つてみよう！」(令和7年11月29日)



リースの歴史や土台となる「ツル」、飾りつけに使う材料の説明を聞きました。
今回は、身近な里山の素材を使って作ります。

「どれを付けようかな？」
材料選びの時点からとても楽しそうですね♪。



スタッフに指導をしてもらいながら材料を切ったり、張り付け作業を進めていきます。
「工作博士」の体験がいかされているのかな？上手に道具も使っていました。

今日の材料は、
ヒノキの葉、コウヨウザン、ナンキンハゼ、ツバキ等の実、ワタ、ドングリなどなど。
※リースの土台はクズのツルを使用しましたが、サツマイモやキウイのツルもOKだそうです。



リースも完成間近！
松ぼっくりをサンタさんの顔にみえるように木の実やワタをつめて楽しい作品に仕上がっています。



今回のリース作りは作成だけでなく、歴史や素材について学びながら楽しめたイベントでした。
就実 森の学校の石田先生より「皆さんの作ったリースの輪は、円い形から「永遠」という意味があります。
みなさんの幸せが続くように玄関に飾ってくださいね。」とお話がありました。
新しい年も皆さんとの体験を通して、交流の輪も広げていきたいと思います。